

創立76周年
令和8年度10月号



咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園
HP: <https://www.taito.ed.jp/1380011>



体と心を育てる

園長 北村 恵

9月も集中豪雨や台風による被害が全国で何度も起きました。被害に遭われた方にとっては気の休まらない日々をお過ごしのことと思います。ご親戚やお知り合いで被害に遭われた方もいらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。

例年、涼しくなり始めるこの時期は自然に体を動かしたくなり、子供たちは外で鬼ごっこやかけっこを始めるのですが、なかなかそのような日にも恵まれず、今年は各担任の先生が工夫して体が動かせるようなコーナーを設定しています。

3歳児うさぎ組では、にんじんホールにフロアーカーや三輪車を走らせるコース、ジャンピングマット、バランスボード、すべり台、巧技台のでこぼこ道などが、日々配置されています。保育室内では、大きなビニール袋に新聞紙を詰めて作ったお化けを倒そうと全身を使って戦いを挑んでいる子供や、電車を作るために大きなウレタンマットを頑張って運んでいる子供の姿も見られます。

4歳児ぱんだ組では、ぱんだホールにジャンボマットで作った山や縄でできている大きな太鼓橋、一本橋などが設定されています。隣の保育室にはそれぞれが友達と作った家が何軒かできていて、時々ホールにある山や太鼓橋に出かけて体を動かし、家に戻って寝たりご飯を食べたりしています。

5歳児ぞう組では、ぞうホールに巧技台で作った雲梯や鉄棒などが設定されていて、自分のできるようになりたいという目当てに向かってチャレンジをしています。保育室やピロティーでは、紙飛行機を遠くまで届くように工夫して飛ばしている子供や、自分の作ったトンボをひもにつけて走っている子供もいます。

運動能力の向上には、一斉活動で運動を教えるよりも自分のしたい遊びを意欲的に行う方が有効であるというデータがあります。先生たちは、子供たちのやりたいという意欲を引き出せるような環境を日々用意しています。したい遊びをする中で、歩く、走る、踊る、投げる、跳ぶ、持ち上げるなどの多様な動きを体験しています。夢中になって遊ぶ経験を通して体力や運動能力の基礎を自然と培っているのです。

体力や運動能力は、ゆくゆくスポーツの基礎になるだけでなく、日常生活でスムーズに動けることや、体を支え怪我や事故を避ける、病気になりにくいなどの健康にも関係し、さらに意欲、気力、忍耐力などの精神面にも深く関わっています。

幼稚園で心も体も大きく成長するように、これからも援助の工夫をしていきたいと思っています。